

皮膚の悪性腫瘍



松阪市マスコットキャラクター
「ちやちやも」

<病気について>

作成：医事課

皮膚がんの中でも頻度が高く、重要なものとして、基底細胞癌、有棘細胞癌、悪性黒色腫の3種類が挙げられます。

・基底細胞癌

皮膚がんの中で一番頻度が高く、中高年（特に高齢者）の顔面に好発します。

特に頬部、眼瞼、外鼻などによく見られ、黒色調のものがほとんどです。

・有棘細胞癌

皮膚がんの中で2番目に頻度が高く、高齢者の顔面、四肢に好発します。

硬いしこりで、かさぶたや潰瘍になることがあります。

・悪性黒色腫

皮膚がんの中で3番目に頻度が高く、悪性度が非常に高い腫瘍です。四肢末端に好発します。

ほくろに似たがんですが、普通のほくろとの見分け方は

- ① 色むらがあったり形が不明瞭
- ② 盛り上がったたり、血がにじむ

この中で1つでも当てはまったら皮膚科を受診して下さい。

※当院では悪性黒色腫の治療は行っておりません。



<検査>

皮膚がんの検査は、まずはダーモスコープという特殊な拡大鏡で^{とくしゅ かくだいきょう}観察^{かんさつ}します。その結果、がんの可能性がある場合は局所麻酔をしてから切り取る検査「皮膚生検」^{ひふせいけん}をします。

<治療>

がん治療には、手術、放射線療法^{ほうしゃせんりょうほう}、化学療法^{かがくりょうほう}（抗がん剤治療^{こうざいりょう}）などがありますが
皮膚がんの治療は、基本となるのは**手術**です。

<治療費～概算～>

《入院の場合》

1割負担の場合	33,000円
3割負担の場合	99,000円

※食事代金、個室代金は含まれていません。

※高額医療の方は、申請により限度額認定証が交付されますので、詳細は医事課まで御連絡下さい。

《外来の場合》

1割負担の場合	13,000円
3割負担の場合	39,000円

※検査、投薬等の費用は含まれていません。

<平成28年度当院データ>

・年間悪性腫瘍切除症例数	8件	〔入院 1件 外来 7件〕
・平均入院日数（手術のみの場合）	3日	

※パンフレットに関するご不明な点等ございましたら、
医事課までお気軽にお尋ね下さい。

